

授業科目	基礎看護技術				単位	2			
履 修	選択	関連資格	養教一種免		ナンバリング	WE21512J			
開講年次	3	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP3-1 DP3-2 DP5-1				
担当教員	増本 由紀子、原 百合								
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>養護教諭は、学校保健にかかわる専門職として、疾病の予防や異常の早期発見と早期対応、健康問題を持つ児童・生徒への対応などの活動が必要とされる。</p> <p>当科目では、養護教諭として必要な基礎的看護技術、および児童・生徒に身体的健康問題が生じた場合の援助方法に関する知識を養うことを目的とする。実務家教員として、学校現場で遭遇することの多い健康問題への対応の経験を活かし、「健康問題がある場合の援助技術」について、講義による解説と、現場で役立つ技術の演習を実施する。また、感染防御技術を中心とした「健康と環境」、健康状態を判断するための「フィジカルアセスメント」、学校現場で起こりうる状況に対する「応急処置」に関する基礎的知識と看護技術について、講義による解説と演習を実施する。</p>								
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学校現場における感染防御の視点が理解でき、感染を防御するための方法について説明および修得できる。 2. フィジカルアセスメントの必要性が理解でき、正しい方法について説明および修得できる。 3. 身体面における緊急事態発生時の対応が理解でき、応急処置について説明および修得できる。 4. 学校現場で遭遇することの多い疾患に対する治療方法と、援助するための方法を説明できる。 								
達成度評価									
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考	
総合評価割合	50	0	10	30	0	10	100		
知識・理解 (DP1-1)	30		0				30		
知識・理解 (DP1-2)	20		0				20		
知識・理解 (DP1-3)									
知識・理解 (DP1-4)									
思考・判断 (DP2-1)									
思考・判断 (DP2-2)									
関心・意欲 (DP3-1)			5			5	10		
関心・意欲 (DP3-2)			5			5	10		
態度(DP4-1)									
態度(DP4-2)									
態度 (DP4-3)									
技能・表現 (DP5-1)				30			30		
技能・表現 (DP5-2)									
技能・表現 (DP5-3)									
具体的な達成の目安									
理想的レベル					標準的なレベル				
標準的なレベル1～5を達成した上で、技術の実施に関しては、自分からその方法を創意工夫できる。感染防御技術については、身に付けた技術を日常生活において自ら実践することができる。また、フィジカルアセスメントなどの判断を要する項目においては、得られた数値をアセスメントの視点を用いて的確に判断し、アセスメントの過程を記述することができる。					<ol style="list-style-type: none"> 1. 学校現場における感染防御と環境整備の方法について説明できる。 2. フィジカルアセスメントの方法について説明でき、得られた情報をアセスメントする過程が理解できる。 3. 学校現場における応急処置の方法について説明できる。 4. 学校現場で遭遇することの多い疾患に対する援助方法を説明できる。 5. 上記1～3に関わる技術について、基礎的な方法を確実に実施できる。 				

授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ:健康と環境—感染防御技術①— スタンダードプリコーションについての解説 ・手洗い、うがい、マスクと手袋の着脱方法についての解説と実技のデモンストレーション	ガイダンス 講義	復習:確認問題を解き、知識を整理する	90
2	テーマ:健康と環境—感染防御技術②— ・滅菌と消毒についての解説 テーマ:健康と環境—環境整備— ・保健室と病床の環境整備についての解説	講義 演習	予習: 1.講義内容に関係する部位の解剖学を復習する 2.配布資料を読み、実施する講義について大まかに理解しておく 復習: 確認問題を解き、知識を整理する	40 40
3	テーマ:テーマ:健康と環境—環境整備— 保健室と病床の環境整備、ベッドメイキングについての解説と技術の実施。	講義 演習	予習: 1.講義内容に関係する部位の解剖学を復習する 2.配布資料を読み、実施する講義について大まかに理解しておく 復習: 確認問題を解き、知識を整理する	40 40
4	テーマ:フィジカルアセスメント—観察と記録— 看護・養護における観察の意義、観察に必要な知識・情報の種類と記録の方法についての解説と、情報の整理の演習。	講義 演習	予習: 1.講義内容に関係する部位の解剖学を復習する 2.配布資料を読み、実施する講義について大まかに理解しておく 復習: 確認問題を解き、知識を整理する	40 40
5	テーマ:フィジカルアセスメント—バイタルサイン測定— 体温、脈拍、呼吸、酸素飽和濃度の測定方法についての解説と技術の実施。	講義 演習	予習: 1.講義内容に関係する部位の解剖学を復習する 2.配布資料を読み、実施する講義について大まかに理解しておく 復習: 確認問題を解き、知識を整理する	40 40
6	テーマ:フィジカルアセスメント—バイタル際の測定— 血圧の測定方法についての解説と、体温、脈拍、呼吸、血圧の測定の実施。	講義 演習	予習: 1.講義内容に関係する部位の解剖学を復習する 2.配布資料を読み、実施する講義について大まかに理解しておく 復習: 確認問題を解き、知識を整理する	40 60

7	テーマ:フィジカルアセスメント—全身の観察— 全身のアセスメントの方法についての解説と頭頸部のアセスメントの実施。	講義 演習	予習: 1.講義内容に関係する部位の解剖学を復習する 2.教科書該当部分を読み、実施する技術について大まかに理解しておく 復習: 確認問題を解き、知識を整理する	40 40
8	テーマ:フィジカルアセスメント—全身の観察— 胸部・腹部の聴診などの観察方法についての解説と技術の実施。	講義 演習	予習: 1.講義内容に関係する部位の解剖学を復習する 2.教科書該当部分を読み、実施する技術について大まかに理解しておく 復習: 確認問題を解き、知識を整理する	40 40
9	テーマ:フィジカルアセスメント—全身の観察— 身体計測 1. 全身の観察:全身の観察・意識レベルのチェック・ 神経系のアセスメントの解説と技術の実施。 2. 身長・体重の測定などについての解説と技術演習・ 環境測定の実施。	講義 演習	予習: 1.講義内容に関係する部位の解剖学を復習する 2.教科書該当部分を読み、実施する技術について大まかに理解しておく 復習: 確認問題を解き、知識を整理する レポート: 演習中に測定した数値を記録し、分析する	40 60
10	テーマ:フィジカルアセスメント—身体計測— 視力・聴力・胸囲・腹囲の測定についての解説と技術演習、 環境測定の実施。	講義 演習	予習: 1.講義内容に関係する部位の解剖学を復習する 2.教科書該当部分を読み、実施する技術について大まかに理解しておく 復習: 確認問題を解き、知識を整理する	40 60
11	テーマ:フィジカルアセスメント—異常時の対応— 異常時(発熱・嘔吐・下痢・熱傷)の対応についての解説と 技術(罨法)の実施。	講義・演習	予習: 1.講義内容に関係する部位の解剖学を復習する 2.教科書該当部分を読み、実施する技術について大まかに理解しておく 復習: 確認問題を解き、知識を整理する	40 40
12	テーマ:応急処置 骨折・脱臼・捻挫・熱傷・出血等の応急処置についての 解説と、技術(包帯法)の実施。	講義・演習	予習: 1.講義内容に関係する部位の解剖学を復習する 2.教科書該当部分を読み、実施する技術について大まかに理解しておく 復習:	40 40

			確認問題を解き、知識を整理する	
13	テーマ:健康問題がある場合の援助と技術 喘息・過換気症候群などによる呼吸困難時の対応についての解説と、技術(体位変換)の実施。	講義・演習	予習: 1.講義内容に関係する部位の解剖学を復習する 2.教科書該当部分を読み、実施する技術について大まかに理解しておく 復習: 確認問題を解き、知識を整理する	40 40
14	テーマ:健康問題がある場合の援助と技術 吸入や与薬方法の解説と実技の実施。	講義・演習	予習: 1.講義内容に関係する部位の解剖学を復習する 2.教科書該当部分を読み、実施する技術について大まかに理解しておく 復習: 確認問題を解き、知識を整理する	40 40
15	テーマ:基礎看護技術のまとめ 基礎看護技術で学んだ知識・技術を整理する。 実技試験	講義・実後試験	予習: 1.講義内容に関係する部位の解剖学を復習する 2.教科書該当部分を読み、実施する技術について大まかに理解しておく 復習: 確認問題を解き、知識を整理する	40
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				

30				
理解に必要な予備知識や技能	基礎看護技術は、これまで学んだ解剖学、生理学、微生物学など医学系の知識に基づいた内容となりますので、それらの科目を授業テーマに合わせて予習・復習しながら授業に臨んで下さい。			
テキスト	「養護教諭、看護師、保健師のための 新版 学校看護—すべての子供の健康実現を目指して—」（東山書房）			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	参考図書:「保健室で役立つステップアップフィジカルアセスメント」(東山書房) 「フィジカルアセスメントがみえる」(メディックメディア) 「看護技術がみえる Vol.1 基礎看護技術」(メディックメディア) 「看護技術がみえる Vol.2 臨床看護技術」(メディックメディア) 教材:必要に応じて資料を配布します。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	講義と技術演習を行います。技術演習での体験を通して、実践的な技術を身に付けられるよう、学習を進めて下さい。			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	レポートの内容については、授業の中で指示します。 その他の内容については、授業への貢献度等で評価します。			

